7月20日告示・8月6日投票の
埼玉県知事選予定候補に

日本共産党埼玉県委員会書記長

柴岡ゆうま氏を発表！

●日本共産党埼玉県委員会は、7月20日告示・8月6日投票の埼玉県知事選への予定候補に柴岡ゆうま氏（39歳）を発表しましたのでお知らせします。

県民一人ひとりに寄り添う 埼玉県知事選への、柴岡ゆうま氏の擁立について

あたたかい埼玉県政へ

2023年7月14日　日本共産党埼玉県委員会

日本共産党埼玉県委員会は、来たる埼玉県知事選挙に柴岡ゆうま氏（党埼玉県委員会書記長）を日本共産党公認候補として擁立し、たたかうことにしました。

日本共産党は前回県知事選挙で、「民主県政の会」のみなさんとともに、「自民党県政の誕生は許さない」「立憲主義を守り、民主的な県政をめざす」との立場で大野元裕候補（現知事）を自主的に支援し、大野県政誕生に貢献してきました。この4年間、日本共産党としては、自主支援した大野県政を支え発展させようと努力し、知事のもとで様々な前向きな変化をつくりだすとともに、一方で県民の願い実現にとって課題もたくさんあることを承知し、その改善も強く求めてきました。

しかし、知事は自民党や公明党に接近するなど、当初の政治的立ち位置を大きく変え、この知事選挙にあたっては自民党・公明党・維新の会も含めて「支持」をうけ、先日7月5日には、自民党と政策協議まで行うに至りました。自民党県連が出した政策要望書には、莫大な予算を要する地下鉄7号線の延伸や県庁舎の建て替え計画も入っており、会合に参加した自民党県連幹事長は「同じ目線、同じ方向性でやっていくことを確認できた」と述べ、「事実上の政策協定」とも報じられるまでになっています。

こうした自民党と一体化しつつある大野県政について、日本共産党として議論をギリギリまで重ね、党として候補者を擁立して、県民の願いをかかげてたたかう決断をしました。告示目前になっての決断となりましたが、それが公党としての県民に対する責任だと考えました。

私たちは「民主県政の会」の一員として、7月初旬に開かれた会議での「大野知事への自主支援はせず、対立候補も出さない」との立場を確認してきましたが、その後の大野知事と自民党との政策協議などの動きもふまえ、議論を重ねたうえでの決断です。「民主県政の会」のみなさんには困惑させてしまう事態をつくりだしてしまい、心からお詫びを申し上げるものです。

私たち日本共産党は、今回の知事選挙では、大野県政のもとでつくられた前向きの変化を評価しつつも、自民党と一体化しつつある県政の限界をのりこえて、「民主県政の会」のみなさんからも要望されている願い実現に向かって、県民一人一人に寄りそう、あたたかい県政をめざして全力をつくします。

柴岡ゆうま予定候補は、これまで国政選挙に3回挑戦し、その後は党県委員会書記長として埼玉県委員会の活動のカナメの役割を果してきました。埼玉の党を代表する政治家で、県知事選候補として最適の候補と確信しています。

私たち日本共産党として、今回の決断と政策論戦は必ずや県民要求の実現と県政発展の力になると信じます。みなさんのお力をお貸しください。

●1984年3月埼玉県生まれ●県立熊谷農業高校、帯広畜産大学卒●2006年から日本共産党埼玉北部地区委員会に勤務、その後地区委員長など歴任。●現在、日本共産党埼玉県委員会書記長（中央委員、県委員）
◎2012年、14年、17年衆院選に埼玉11区から立候補　［家族］妻と子ども3人、深谷市在住

「第一声」7月20日(木)午前10時/浦和駅西口

新埼玉
2023年7月号外　連絡先/さいたま市大宮区北袋町1-171-1　日本共産党埼玉県委員会　☎048-658-5551